

生涯研修課程 チームリーダー研修会

社会福祉法人 長崎県社会福祉協議会
〒852-8104 長崎県長崎市茂里町3-24

助成事業の概要

【実施目的】

福祉サービス提供の最前線を指揮するチームリーダーを対象に、リーダーとしての役割の再確認とともに、マネジメント力・コミュニケーション力の醸成を目的とし、グループワークなどを通して、他職場の職員と積極的な協議の場を作り、各受講者の研鑽につなげていただくことを目的として開催した。

【実施時期・内容】

●チームリーダー研修会

日時：平成25年5月20日～21日（佐世保会場）、平成25年6月27日～28日（長崎会場）

講師：金松 敏信 氏（長崎女子短期大学教授）

秋満 直人 氏（エデュテメント・パートナーズ代表）

内容：“福祉サービスのプロ”として最低限必要な知識及び役割を再認識するとともに、組織の要となる“チームリーダー”としてチームマネジメントやリーダーシップの醸成について学ぶ。

●チームリーダーフォローアップ研修会

日時：平成25年10月30日（長崎会場）

講師：秋満 直人 氏（エデュテメント・パートナーズ代表）

内容：春の研修の振り返りで学んだ結果が活かされているかのフォローアップを行うとともに、春の研修内容からさらにステップアップした“組織運営管理への参画と協働”をテーマに、職場課題

解決のキーパーソンとしての役割を身につける

事業の成果

チームリーダーには、「高度な倫理観を持ち、自身の仕事を分析的にみることができ、改善できる。（中略）チームリーダーとして、後輩等に対し指導・育成等を行うなど役割を果たし、上位者を支援することができる」（全国社会福祉協議会

福祉・介護サービス従事者の実践能力段階）ことが求められている。しかし、これらの能力は、多忙な業務の中にある一職員が、自らの意識だけで獲得するにも、また一職場内で補うにも大変難しいものである。

そこで、本研修会では、職場外OFF-JTならではの長所を活かし、各現場で同じリーダー的立場である職員が一堂に会し互いに意見を交わすことで自らを省み、また自職場を客観視できる機会を作ることによって一職場で完結しない広い視野を身につけることが可能となった。研修内容についても、各受講者に事前課題を設けて、現在のチームリーダーの立場にある職員が現場でどのような課題に直面しているかを、あらかじめ講師に把握して頂いていたことにより、より受講者にとってタイムリーな内容の講義を行うことができた。また、春の研修会から半年後にフォローアップ研修会を行うことにより、春に学んだことが実際に「身に付け」「活かせ」ているかを自ら再確認する機会が生まれ、さらに春の研修会と同じ講師が講義を行うことによって、春から秋の研修へのスムーズな流れを作ることができ、より研修効果を

高めることができた。

研修終了後は、受講者からも、“チームリーダーとしての方向性が見えてきた”“机上で終わらず現場で活かせる内容だった”“現場や組織運営をイメージしながら受講でき、多くの気づきが生まれた”との意見をいただき、組織人としてチームマネジメントに苦慮するチームリーダーの実践力の向上とモチベーションアップにつながったと感じている。

全域で行っていくことを目指し、今以上に多くの事業所からの研修受講を促すことができるよう、広報・周知にも力を入れていく必要があると考えている。

■ 成果の広報、公表

本事業を行うにあたり、県内の福祉事業所に開催要項を数回に分けて送付し、また本会ホームページにも掲載を行った。事業成果については、次年度の開催要項等にアンケート内容等を掲載し、成果報告とする予定である。

また、本会の事業報告書においても、研修会実施結果を掲載するとともに、1月にはホームページ上でパブリックコメントの募集を行い、頂いた結果や意見についても同じくホームページ上で公開する予定としている。

■ 今後の展開

今年度以降も、今回のように組織人としてのチームリーダーの役割を学んだり、スキルアップにつなげる研修会については、フォローアップ研修も含めて、現在の質を保ちながら継続して行っていく予定である。ただし、今年度で県内の福祉関係事業からの参加があったのは、県内の福祉事業所の約1割に過ぎない。

民間組織としての「自主性」を持つと同時に、広く住民や社会福祉関係者に支えられた「公益性」、「中立性」を有する社会福祉協議会の立場として、長崎県全体の福祉現場の底上げをはかるため、組織の要となる“実践に強いリーダー”育成を県内